



学校施設等の安全点検を充実していくために

県教育委員会では、昨年10月に「学校施設・設備等の安全点検における参考資料」を作成し、教職員が日常及び定期的な学校施設・設備等の安全点検を実施するに当たってのポイントや留意点を映像として取りまとめました。

また、8月2日（火）、4日（木）、8日（月）には、白石工業高等学校建築科の教員を講師に、本参考資料を活用した「学校施設等安全点検講習会」を学校の教職員等を対象に開催しました。

改めて、本参考資料を以下に紹介しますので、教職員が行う日常及び定期的な学校施設・設備等の安全点検の際に、参考にさせていただき、学校施設等における事故防止に努めていただくようお願いいたします。また、教職員の点検で安全性の判断が困難な場合、又は設置場所や構造上の複雑さ、金属疲労・腐食・破損等の状態を正確に把握できない場合は、専門家による点検を行うよう、学校と教育委員会学校施設担当課とで十分に連携を図って対応ください。



学校施設等安全点検講習会の様子

「学校施設・設備等の安全点検における参考資料」

本参考資料は、下記のリンクからダウンロードできます。

■スライド資料



<https://www.pref.miyagi.jp/site/gakkou-anzen-bousai/anzentenken.html>

■映像資料



<https://youtu.be/ij0sVvbblg4>

宮城県学校施設等安全点検講習会



トピックス

「PTAと生徒、合同による学校施設点検」の開催（村田町立村田第二中学校）

村田第二中学校では、昨年度、PTAと連携した学校施設等の安全点検を実施しました。

今年度は、生徒と保護者、教員と一緒に安全点検を行うことで、危険と思われる箇所を互いに確認し合いながら、事故等を防ぐ取組につなげています。また、今回出た危険箇所等は学校と共有するとともに、教育委員会とも連携を図っていく予定とのことです。

さらに、今後、今回の合同による点検を通じ、全校生徒間でも危険箇所等を共有し、全校生徒の安全意識の高揚にもつなげていくとのことです。

【合同による安全点検の主な流れ】



昨年度の点検結果を基に
合同で点検



安全面、衛生面の
視点でグループ
に分かれ点検



点検した結果を全体で共有

－児童生徒の交通安全教育の充実をお願いします－

標記の運動が令和4年9月21日（水）から9月30日（金）までの10日間実施され、特に9月30日（金）を「交通事故死ゼロを目指す日」とすることとされました。

また、運動重点（全国重点と同じ）として、「子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保」、「夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶」、「自転車の交通ルール遵守の徹底」が定められました。

各学校においては、日頃より交通安全指導が行われていると思いますが、今回の交通安全運動の機会に、改めて、児童生徒への交通安全教育の実施をお願いします。

以下に、交通安全教育の参考となる資料を紹介します。

■「宮城県警察本部交通企画課ホームページ」

<https://www.police.pref.miyagi.jp/kikaku/>（※）



子供たちの交通事故防止に向けて参考となる資料が紹介されています。

【ホームページに掲載している主な内容】

○交通事故発生状況（随時更新されます）

https://www.police.pref.miyagi.jp/kikaku/shiboutoku/jiko_tokutyou/tukigoto/tokutyo.html

・県内で発生した歩行者や自転車での交通事故や事故の特徴がまとめられている。

○広報用チラシ（※のアドレスのページから確認できます）

・自転車安全利用五則など、授業や校内での掲示等で交通事故防止に活用できるチラシがダウンロードできる。

○公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCzFwgY4UzaWB8yiG1NUuqNg/videos>

・子供の交通事故防止（歩行者編）などの動画をYouTubeで紹介



■内閣府 中学生・高校生向け 自転車交通安全講座ダイジェスト版

https://www8.cao.go.jp/koutu/kyouiku/pdf/mh_bicycle.pdf

自転車安全利用五則、自転車事故で問われる責任、事故時の正しい対応を解説



みやぎ高校生サイクルサミット2022

8月3日（水）に県内20校の高等学校が参加し、オンラインで開催しました。

サミットでは、今後の自転車事故防止に向けた高校生の主体的な取組をしていくために、「安全な自転車走行」や、「ヘルメットの着用促進」などについて、運営協力校5校（仙台第三・泉松陵・富谷・古川工業・大河原商業）の生徒がコーディネーター役を務め、グループで話し合いを行った。

自転車利用時のイヤホンの着用を減らすことや、ヘルメット着用の効果を実感できるようになるとよいなどの意見が出された。



「災害時学校支援チームみやぎ」の活動

県教育委員会では、全国の大規模災害時に、被災自治体等の要請に基づき、被災した学校等支援する「災害時学校支援チームみやぎ」の構成員（本県教職員）を養成しています。

また、今年度は、本構成員を対象に、避難所運営ゲーム（HUG）の研修を開催しました。

本構成員は、事前防災として、防災主任研修会（2年目）の講師等も務めており、学校での災害後の対応に備えた研修への講師派遣等も可能です。



【講師等申込み先】

宮城県教育庁保健体育安全課
学校安全・防災班（022-211-3669）